



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年11月8日

上場会社名 株式会社やまびこ 上場取引所 東
 コード番号 6250 URL <http://www.yamabiko-corp.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 永尾 慶昭
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 瀬古 達夫 TEL 0428-32-6111
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	52,925	9.2	3,010	75.4	3,433	157.1	2,528	331.9
25年3月期第2四半期	48,454	2.5	1,716	△36.4	1,335	△44.3	585	△63.3

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 4,148百万円 (700.0%) 25年3月期第2四半期 518百万円 (△65.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	245.39	—
25年3月期第2四半期	57.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	83,723	33,016	39.2	3,188.70
25年3月期	79,163	29,513	37.1	2,849.89

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 32,857百万円 25年3月期 29,369百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	60.00	60.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	75.00	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	12.3	4,500	103.4	4,600	55.6	3,300	36.2	320.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	11,027,107株	25年3月期	11,027,107株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	722,680株	25年3月期	721,719株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	10,304,672株	25年3月期2Q	10,130,952株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査の手続の対象外ではありますが、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく連結財務諸表の監査手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となることがあります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国は景気回復が継続したものの、欧州は依然として低迷し、新興国でも減速が懸念されるなど不透明な状況で推移しました。国内経済は、政府の財政・金融政策の効果などで緩やかながら回復基調を辿りました。

当社グループを取り巻く市場環境は、国内農業機械市場は補正予算などでトラクタやコンバインなど大型機械が引き続き好調に推移したほか、刈払機などの小型機械も堅調でした。国内建設機械市場は震災復興や第4次排出ガス規制対策に加えて、社会インフラ老朽化対策などの需要増に伴い総じて好調に推移しました。海外小型屋外作業機械市場は、主力の北米で春先の天候不順から回復した結果、前年並みとなりましたが、欧州の景気低迷や中南米で続く政情不安に変化は見られずに厳しい状況で推移しました。

また、昨年末からの急速な円安傾向に一服感が見られたものの、当第2四半期連結累計期間における為替相場は対ドル、対ユーロともに前期に比べて大幅な円安水準で推移しました。

このような環境の下、当社グループは市場ニーズに合わせた新製品の投入を行うなどシェアおよび売上の拡大を図ることはもとより、最終年度となった「中期経営計画2014」達成のため、引き続き新規市場の開拓や新生産システムの導入および国内サービス網充実のための施策など業務効率向上・市場競争力強化に向けた各重点施策に着実に取り組みました。

以上のような事業活動を展開した結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループ連結業績は次のとおりとなりました。

[売上高]

当第2四半期連結累計期間の売上高は、529億25百万円（対前年同四半期比9.2%増）となりました。その内訳は、国内売上高が213億37百万円（同2.1%減）、米州の売上高は263億6百万円（同19.2%増）、米州以外の海外売上高は52億82百万円（同15.1%増）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

① 小型屋外作業・農業用管理機械

売上高は、389億48百万円（同12.2%増）となりました。

・小型屋外作業機械

国内は、チェンソーが市況の低迷により減少したものの、主力の刈払機が堅調に推移したことなどにより前年並みとなりました。海外は、主力の北米市場が春先の天候不順から回復したことに加えて、大型チェンソーやパワーブロワの新製品投入のほか、刈払機の期間限定の価格政策などにより前年並みに持ち直し、円換算後は大幅な増収となりました。欧州は、依然景気回復が見られずに販売数量は落ち込んだものの、為替の影響により増収となりました。

その結果、小型屋外作業機械の売上高は287億25百万円（同14.8%増）となりました。

・農業用管理機械

国内は、昨年新製品を投入して躍進した反動によりスピードスプレーヤが減少しましたが、補正予算や消費税増税の駆け込み需要などでその他の防除機が堅調に推移したほか、省力化・効率化で需要が底堅い畦草刈機が好調を維持しました。海外は、穀物価格高を背景に収穫機が堅調に推移したことなどで前年を上回り、円換算後も増収となりました。

その結果、農業用管理機械の売上高は102億23百万円（同5.6%増）となりました。

② 一般産業用機械

溶接機が新製品投入の効果で伸長しましたが、震災以降活発であった官公庁ルートにおける非常用発電機の需要減少などで大幅な減収となりました。

その結果、売上高は48億88百万円（同13.0%減）となりました。

③ その他（アクセサリー、アフターサービス用部品、他）

国内は、各種拡販策の実施によりアクセサリーが堅調に推移しました。海外では、北米が2サイクルエンジン用の燃料やオイルなどの新商品投入により堅調に推移したことに加え、為替の影響により大幅な増収となりました。

その結果、売上高は90億88百万円（同11.8%増）となりました。

[損益]

国内産業機械や欧州・中南米の販売の減少や未実現利益の増加などの利益圧迫要因もありましたが、前年同四半期に比べて大幅な円安による利益の増加により営業利益は30億10百万円（同75.4%増）となりました。経常利益は為替差益の増加などもあり34億33百万円（同157.1%増）、四半期純利益は25億28百万円（同331.9%増）となり、いずれも前年同四半期に比べて大幅な増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて45億59百万円増加し、837億23百万円となりました。

これは、商品及び製品の減少21億44百万円があったものの、現金及び預金の増加13億50百万円、受取手形及び売掛金の増加29億15百万円、原材料及び貯蔵品の増加8億49百万円等によるものであります。

② 負債

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて10億56百万円増加し、507億6百万円となりました。

これは、退職給付引当金の減少3億22百万円等があったものの、電子記録債務を含めた支払手形及び買掛金の増加12億21百万円、賞与引当金の増加4億62百万円、借入金の増加8億7百万円等によるものであります。

③ 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて35億3百万円増加し、330億16百万円となりました。

これは、為替換算調整剰余金の増加14億9百万円、利益剰余金の増加19億10百万円等によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ2.1ポイント増加し、39.2%となりました。

④ キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、営業活動によるキャッシュ・フローが36億49百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローが18億13百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが5億82百万円の支出となりました。その結果、当第2四半期連結会計期間末の資金残高は62億58百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業キャッシュ・フローは、売上債権の増加による支出19億18百万円、仕入債務の減少による支出14億23百万円などがあったものの、税金等調整前四半期純利益34億2百万円、減価償却費13億42百万円などにより、36億49百万円の収入(前年同四半期は35億81百万円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形及び無形固定資産の売却による収入9百万円があったものの、有形及び無形固定資産の取得による支出17億57百万円などにより、18億13百万円の支出(前年同四半期は11億65百万円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入18億86百万円があったものの、短期借入金の減少額6億20百万円、長期借入金の返済による支出11億68百万円、配当金の支払額6億18百万円などにより5億82百万円の支出(前年同四半期は11億86百万円の支出)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの主力製品である小型屋外作業機械および農業用管理機械の需要は、北半球における春から初夏までに偏っております。そのため、第2四半期累計期間に比べて第3四半期および第4四半期の半年間は売上高および利益の水準が低くなると見込まれます。

加えて、当社グループの売上の半分以上が米ドルを中心とする外貨によるものであるため、為替相場の動向によっては、業績に大きく影響が及ぶ可能性があります。

今後の見通しにつきましては、為替の行方や欧州・アジア地域の景気減速懸念など当社グループを取り巻く経営環境の先行は不透明なため、それらが与える業績への影響を予測しづらい状況にありますが、当第2四半期連結累計期間の業績も概ね予想どおりに推移したことなどから、平成25年8月9日に発表した平成26年3月期の通期業績予想は据置いております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(たな卸資産の評価方法の変更)

当第2四半期連結会計期間より、当社は原材料の評価方法を最終仕入原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）から、総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）に変更いたしました。

この変更は、当社が平成25年8月に生産管理に係る基幹システムを更新したことに伴い、より適切にたな卸資産の評価及び期間損益計算を行うことを目的として行ったものであります。

なお、この変更による影響額は軽微であり、遡及適用は行っておりません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,907	6,258
受取手形及び売掛金	14,853	17,769
商品及び製品	25,356	23,211
仕掛品	1,250	1,397
原材料及び貯蔵品	6,212	7,061
その他	2,504	2,544
貸倒引当金	△157	△168
流動資産合計	54,927	58,074
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,258	7,358
土地	8,137	8,177
その他(純額)	5,704	6,328
有形固定資産合計	21,100	21,864
無形固定資産	757	1,060
投資その他の資産		
その他	2,877	3,192
貸倒引当金	△498	△468
投資その他の資産合計	2,378	2,723
固定資産合計	24,235	25,648
資産合計	79,163	83,723
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,810	9,880
電子記録債務	—	6,151
短期借入金	20,320	20,261
1年内返済予定の長期借入金	2,374	1,858
未払法人税等	459	573
賞与引当金	142	605
製品保証引当金	826	607
その他	4,871	3,453
流動負債合計	43,805	43,391
固定負債		
長期借入金	2,724	4,106
退職給付引当金	858	535
環境対策引当金	39	39
製品保証引当金	73	277
その他	2,147	2,355
固定負債合計	5,844	7,315

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債合計	49,649	50,706
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,000	6,000
資本剰余金	9,547	9,548
利益剰余金	15,974	17,885
自己株式	△738	△742
株主資本合計	30,784	32,691
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	477	648
為替換算調整勘定	△1,891	△482
その他の包括利益累計額合計	△1,414	166
少数株主持分	144	159
純資産合計	29,513	33,016
負債純資産合計	79,163	83,723

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	48,454	52,925
売上原価	36,176	38,519
売上総利益	12,277	14,405
販売費及び一般管理費	10,560	11,395
営業利益	1,716	3,010
営業外収益		
受取利息	16	6
受取配当金	40	22
為替差益	—	432
その他	116	128
営業外収益合計	173	590
営業外費用		
支払利息	165	132
為替差損	368	—
その他	21	34
営業外費用合計	554	167
経常利益	1,335	3,433
特別利益		
固定資産売却益	3	4
特別利益合計	3	4
特別損失		
固定資産除売却損	16	28
減損損失	—	7
リース解約損	18	—
特別損失合計	35	35
税金等調整前四半期純利益	1,303	3,402
法人税、住民税及び事業税	737	988
法人税等調整額	△37	△133
法人税等合計	699	855
少数株主損益調整前四半期純利益	603	2,547
少数株主利益	18	19
四半期純利益	585	2,528

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	603	2,547
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△245	171
繰延ヘッジ損益	2	—
為替換算調整勘定	157	1,429
その他の包括利益合計	△85	1,600
四半期包括利益	518	4,148
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	498	4,109
少数株主に係る四半期包括利益	20	38

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,303	3,402
減価償却費	1,274	1,342
減損損失	—	7
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△136	△322
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1	△38
受取利息及び受取配当金	△56	△29
支払利息	165	132
賞与引当金の増減額 (△は減少)	519	462
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,146	△1,918
たな卸資産の増減額 (△は増加)	2,045	3,200
仕入債務の増減額 (△は減少)	△547	△1,423
未収消費税等の増減額 (△は増加)	540	395
その他	△7	△550
小計	3,952	4,659
利息及び配当金の受取額	56	29
利息の支払額	△166	△139
法人税等の支払額	△261	△899
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,581	3,649
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△230	△4
投資有価証券の償還による収入	100	—
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,062	△1,757
有形及び無形固定資産の売却による収入	48	9
その他	△22	△61
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,165	△1,813
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,345	△620
長期借入れによる収入	1,497	1,886
長期借入金の返済による支出	△798	△1,168
配当金の支払額	△486	△618
その他	△54	△61
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,186	△582
現金及び現金同等物に係る換算差額	△44	97
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,185	1,350
現金及び現金同等物の期首残高	4,056	4,907
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,241	6,258

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	小型屋外作業・ 農業用管理機械	一般産業用機械	計			
売上高						
外部顧客への 売上高	34,702	5,620	40,322	8,131	—	48,454
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	22,850	4,086	26,937	2,635	△29,573	—
計	57,552	9,707	67,259	10,767	△29,573	48,454
セグメント利益	413	245	659	3,018	△1,960	1,716

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にアクセサリーおよびアフターサービス用部品の販売に係わる事業を含んでおります。

2. 当第2四半期連結累計期間におけるセグメント利益の調整額△1,960百万円は、報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	小型屋外作業・ 農業用管理機械	一般産業用機械	計			
売上高						
外部顧客への 売上高	38,948	4,888	43,837	9,088	—	52,925
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	25,594	3,566	29,160	2,980	△32,141	—
計	64,542	8,455	72,997	12,068	△32,141	52,925
セグメント利益	1,340	2	1,343	3,792	△2,125	3,010

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にアクセサリーおよびアフターサービス用部品の販売に係わる事業を含んでおります。

2. 当第2四半期連結累計期間におけるセグメント利益の調整額△2,125百万円は、報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な減損損失又はのれん等はありません。